

■、顔料・塗料、日用品まで、
支える「金属粉」「金属箔」。
る福田金属箔粉工業は
、最適な商品をご提供します。

株式会社 www.fukuda-kyoto.co.jp

滋賀工場
〒527-0102 滋賀県東近江市平柳町
TEL 0749-45-0841 FAX 0749-4

広告掲載紙

福田金属箔粉工業社長

園田 修三氏



「プリント基板の配線やコ
ンデンサー、リチウムイオン
二次電池など向けに金属箔
を、自動車用の機械部品や軸
受などの材料向けには金属粉
を開発・供給しています。

「景況感が芳しくないの
で、23年内に予定していた本
社工場の建て替えを来年に延
期する。ただ、以前から進め
ている生産性向上に向けた省
人化・自動化の投資は維持す
だ。23年も厳しい見込み。取
れる。研究開発も必要な設備な

ー23年の事業戦略は。
3月から同10~11月に後ろ倒
しした」

「2030年1月期までの
中長期計画を策定しました。
「社名を聞くだけで好感度
が高い会社として認知され、
社員や顧客、地域社会などの
ステークホルダー、みんなが
生き生きと元気になる企業
を目指す。企業内保育や社員
食堂などの働きやすい環境整
備、除雪や防災などを通じて
地域に貢献する投資も行った
2年間で土台を作り、その後
の27年1月期までに財務を盤
石化。投資も進め、30年1月
期に売上高を現状比約2倍に
高める。最初の2年間のステ
ップ1で、風通しの良い職
場、助け合える文化を醸成。
透明性・納得性・公平性のある評価の仕組みにして、会社と社員の方向性を合わせる」

「性能訴求だけでなく、用
途別で新規顧客でも探し物が
すぐ見つかるマーケティング
を加速する。当社は火気厳禁
エリア向けや灯油・軽油用な
どの用途別で、ドラムポンプ、
オートストップガンノズルな
どのオプション、掃除機、工
場扇などを幅広く手がけるの
が強み。サービス含むトータ
ル提案で差別化を図る。セン
サーやIOT（モノのインタ
ネット）を用い、環境負荷
軽減や原料高騰を背景にした
液体管理の新ニーズに応える
製品開発も進める。外部の力
も借り、営業力とエバーベイブ
の強化で海外事業も伸ば
す。今年は跳ねるウサギのよ
うに勢いある年にしたい」

技術開発力で地盤固め

2023

EV化対応へ動向を注視

どはできるだけ揃える体制を
維持する。技術開発力を無く
すと競争に勝てないからだ。
23年は地盤固めの年だ」

「自動車の電動化が進展し
ています。

電気自動車（EV）をほ
じめ、自動車の電動化は部品
全体の約30%といわれるエン
ジン関連部品が市場から無く
なることを意味する。当社は

エンジンバルブのコーティン
グ関連製品などを手がけてお
り、影響を懸念する。一方、
電動化が進展するとモーター
使用量が増えるので、軸受用
製品などの需要は増える見立
てだ。ただ、エンジン関係の
需要分を全て賄えるとは思え
ない。製品開発を進めたいた
が、どのような製品・技術を開
発すればいいか、まだ見え
ていないのが現状。これらの
動向について注視している」

アクアシステム社長

木村 匡伸氏



液体管理の新ニーズに対応

「2023年の方針は。
「全社挙げて活動量を増や
している。できるだけ国内外
の顧客先へ足を運び、スピード
で、新しい「モノ」を生み出
し、事業速度も速めていくた
め。活動量の増加でいろいろ
と引き合いをもらい、受注量
も伸びているほか、4月以来
の案件も増えている。ただ、
今も続いている部品の不足と

京滋の有力企業22

30・31日連続

好感度で元気な企業

中村 道一氏



NKE社長

「2023年の方針は。
「全社挙げて活動量を増や
している。できるだけ国内外
の顧客先へ足を運び、スピード
で、新しい「モノ」を生み出
し、事業速度も速めていくた
め。活動量の増加でいろいろ
と引き合いをもらい、受注量
も伸びているほか、4月以来
の案件も増えている。ただ、
今も続いている部品の不足と

コンペアに
ブが新登場！

CSW62AM